

奨励品種水稲うるち調理用米品種「ホシユタカ」

農業研究センター 農産園芸研究所 作物部

研究のねらい

食生活の多様化により、冷凍米飯食品等調理用米の適正品種の育成が要請されている。このため、良質でアミロース含量が高く粘りが少ない、ピラフ等調理用米として適正の高い品種の選定を行った。

研究の成果

1. 旧系統名 「中国 96号」
良質の「中国 55号」を母とし、多粒穂性・縞葉枯病抵抗性の「KC 89」を父とした人工交配種である。
2. 品種特性
 - (1) 成熟期は「ミナミニシキ」と同程度の晩生種である。
 - (2) 草型は長稈で穂数が少ない極穂重型である。
 - (3) 収量は「ミナミニシキ」より多収である。
 - (4) 玄米の形質は日本型稲より細長く小粒で、腹白・心白の発生は少なく、外観品質は良い。
 - (5) いもち病にはやや強いが、白葉枯病には弱い。
3. 普及地域 平坦地域(契約栽培農家)

普及上の留意点

- (1) 白葉枯病常発地帯での栽培は避ける。
- (2) 過度の多肥は過繁茂・登熟の低下を助長するので注意する。
- (3) 穂の黄化が半分以上進んだら刈取適期をのがさないように十分注意し、籾の黄化が70%になったら刈り取るようにする。

表1 生育及び収量（旧農試水田 昭和63年度）

品種名	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏	病虫害				玄米重 kg/a	千粒重 g	品質
							葉いもち	穂いもち	白葉枯病	紋枯病			
ホシユタカ	9.8	10.22	95	21.8	230	0	0	0	0	72.9	17.7	5.0	
ミナミニシキ	9.5	10.22	80	18.9	387	0	0	0	0	61.5	22.7	6.0	
トヨタマ	9.1	10.19	82	19.1	390	0.5	0	0	0	70.5	22.6	6.0	

表2 特性調査成績（中国農試）

(1) 特性調査

品種名	稈		芒		ふ先色	穎色	粒着密度	脱粒の難易	玄米	
	細太	剛柔	多少	長短					形状	大小
ホシユタカ	太	剛	無	-	黄白	黄白	密	難	細長	小
ミナミニシキ	中	やや剛	少	短	黄白	黄白	やや疎	易	中	中
日本晴	中	やや剛	稀	極短	黄白	黄白	中	難	中	中
アケノホシ	太	剛	無	-	黄褐	黄白	極密	やや難	中	中

(2) 玄米の粒形調査

品種名	粒長 (mm)	粒幅 (mm)	粒厚 (mm)	粒長 粒幅	粒長×粒幅 (mm ²)
ホシユタカ	5.99	2.47	1.75	2.43	14.80
日本晴	5.14	3.01	2.05	1.71	15.47
アケノホシ	5.11	2.83	1.95	1.81	14.46

表3 アミロース含量・アミログラム調査（北海道上川農試 昭和58年）

品種名	アミロース含量 (%)	アミログラム	
		最高粘土	ブレイクダウン
ホシユタカ	27.4	175	35
日本晴	21.3	355	135
アケノホシ	19.0	450	225
南京11号	28.3	440	30